外国出張報告書

平成 27 年 11 月 16 日

1. 出張国名　　ラオス

2. 出 張 月　　平成 27 年 8 月～10 月

3. 出張目的　　低投入型水稲栽培管理技術、コウモリ糞生産実態調査および現地機関との調整：C

4. 成果の概要

ラオス農業研究センターにおいて４年間継続した施肥処理（牛糞、化学肥料、無肥料）が土壌化学性と水稲の肥料応答性に及ぼす影響について栽培試験を実施し、収穫前の生育調査を実施した。また、水稲生育収量に及ぼすコウモリ糞の施用効果を二種の土壌を用いて検討し、農業研究センター土壌に比べナームアン村水田土壌で効果が高く、後者での低リン酸肥沃度、鉄過剰害リスク等が関係することを明らかにした。また鉄過剰害に及ぼす土壌水分処理の影響は、湛水後土壌を風乾することで消失することから、脱水過程で糖類の生成が生じることが示唆された。なお、本出張期間中に計画していたボケオ県でのコウモリ糞生産の実態調査については、豪雨による道路事情の悪化により延期した。以上の研究活動に加え、12 月のアニュアルミーティングと農民説明会について現地機関コーディネータと打ち合わせを行った。